

まちづくり
戦略

3

地域ぐるみでの子育て環境の充実

子育てをめぐるっては、世帯規模の縮小や地域コミュニティの希薄化等による保護者の孤立化、仕事と子育ての両立の難しさなど、さまざまな課題があります。

地域ぐるみで子育て支援体制を強化するとともに、子どもたち自身の成長や子育てを通じた保護者の学びを後押しすることで、保護者が不安を抱えず楽しみながら子育てができる環境づくりを進めます。



① 安心して子育てができる環境づくり

安心して子どもを生み育てていく環境をつくるには、子育てをする保護者の不安や悩みを解消し、負担を減らしていくことが必要です。子どもを生み育てることの素晴らしさを、将来、親となる世代も含め社会全体が実感できるよう普及啓発に取り組むとともに、地域団体や関係機関、大学等とも連携しながら妊娠から出産、育児まで切れ目のない支援体制の充実を図ります。

<主要な取組>

- 子育てに関する情報発信・講座の充実
- 不妊・不育への支援、妊産婦・新生児の家庭訪問やICT（情報通信技術）の活用も含めたさまざまな機会での相談など、子育て支援体制の充実
- 子育て世代が交流できる機会の提供

② 地域における子育て支援活動の活性化

中京区には、子どもたちを「社会の宝」として地域全体で育てていく、といった「人づくりの伝統」が脈々と受け継がれ、今も地域に根付いています。子育てサロン等の地域主体の子育て支援活動の活性化を図り、地域全体で子育て家庭を温かく見守り、支え合う、子育てしやすいまちづくりを推進します。

<主要な取組>

- 保健師や保育士等の専門職の派遣や大学等との連携による地域の子育てサロンへの活動支援
- 地域の子育て支援団体やボランティア団体への活動支援

③ 子どもの学びを応援する多様なしくみづくり

子どもたちが健やかに育ち、社会のなかで生きる力を身につけていくには、子どもの頃から地域社会の一員として愛され、多様な世代との交流のなかで社会のルールや支え合いの気持ちを身につけていくことが重要です。学校や関係機関との連携の下、地域における子どもたちの居場所の確保やスポーツ、伝統文化、防災等のさまざまな地域行事への参加を支援することで、次の世代を担う子どもたちの学びを後押しします。

<主要な取組>

- 学校や児童館をはじめ、子ども食堂等を運営する団体とも連携した地域における子どもの居場所づくりの推進
- 地域行事への子どもたちの参加促進

④ 子育てから広がる学びの環境づくり

子育ては、次世代の担い手を育てるだけでなく、保護者にとっても子育てを通じた学びの機会であり、新たなことに挑戦し、知識を広げるきっかけとなります。子育て世代の交流促進や親子で一緒に参加できるイベントの実施等により、親子でともに学び、成長できる環境づくりを進めます。

<主要な取組>

- 親子で区内の歴史や文化を学べる機会の提供
- 子育て世代が交流できる機会の提供 (再掲)

⑤ 子育てネットワークの充実

子育て世帯の孤立化をはじめさまざまな課題に対応するには、地域団体、NPOや福祉団体、学校等の関係者の連携が重要です。子育てを支援する関係機関の連携を深め、ネットワークの充実を図るとともに、大学や事業者等の多様な主体との連携、協働を促進していきます。

<主要な取組>

- 関係機関・団体のネットワークの強化とさらなる連携の拡大
- 地域の子育て支援活動と多様な主体の連携促進



ココに
注目!

戦略3
子育ては「みんなごと」で!

「子育て」は、子どもと一緒に時間を楽しむことでさまざまなことを一から勉強し直し、自分も成長できる機会でもあります。最近では男性が「子育て」を楽しみながら、自身の興味の幅を広げ、人生を謳歌する「イクメン」という言葉も定着してきました。

しかし、核家族化の進展等により頼れる方がおらず、夜泣きが続いて睡眠不足になったり、言うことを聞かない我が子に困り果てたりしたときは、どうすればいいのか悩むことも多いと思います。

そんなときは思い切って周りのひとに相談してみてもはどうでしょうか。何も「子育て」の悩みは親だけで抱え込む必要はないのです。子育ての大先輩である隣のおばあちゃんや「公園デビュー」をきっかけに子どもを介して知り合った近所のひとなど、中京区には子どもたちを「社会の宝」として地域全体で育てていく伝統が今も根付いています。

そして、子どもの成長には周囲からの働きかけが欠かせません。たとえば、近所の子どもたちにあいさつすることも立派な「子育て」のひとつです。あなたのちょっとした行動が、子どもたちを健やかに育て、子育て家庭を支えることにつながります。

地域で子どもたちを温かく見守るまちづくりが進めば、女性の生き方や子どもたちの可能性も広がり、家族のあり方や地域とのかかわり方も豊かになります。自分の子どもがいるひともいないひとも、だれもが「みんなごと」として「子育て」に参加することで、社会全体で子どもたちを育てていきましょう。

